

一般入試

学部・学科と募集人員

学部	学科	募集人員
経済学部	経済学科	19名
経営学部	経営学科	16名
法学部	法律学科	25名
文学部	人間学科	36名
教育学部	教育学科	8名
	児童教育学科	11名
理工学部	情報システム工学科	9名
	共生創造理工学科	11名
看護学部	看護学科	11名
国際教養学部	国際教養学科	10名

出願資格

- 次のいずれかに該当する者。
- 高等学校または中等教育学校を卒業した者または平成30年3月卒業見込みの者。
 - 高等専門学校第3学年を修了した者または平成30年3月修了見込みの者。
 - 専修学校の高等課程を卒業(修了)した者または平成30年3月31日までに卒業(修了)見込みの者。
 - 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者または平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者。
- ア. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者または平成30年3月31日までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
- イ. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有する者として認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者または平成30年3月31日までに修了見込みの者。
- ウ. 文部科学大臣の指定した者。
- エ. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者または平成30年3月31日までに合格見込みの者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者、または大学入学資格検定に合格した者。
- オ. その他本学において、相当の年齢に達し、高等学校または中等教育学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。

出願期間

平成29年12月20日(水)～平成30年1月19日(金) 郵送 締切日消印有効

入学試験検定料

受験料 20,000円 選考料(1学科) 13,000円
※受験日数に関わらず、1回の出願につき受験料20,000円と学科数分の選考料で受験できます。

試験日・合格発表日

学部	学科	試験日	合格発表日
経済学部	経済学科	平成30年2月7日(水)	平成30年2月17日(土)
法学部	法律学科		
教育学部	教育学科	平成30年2月8日(木)	
	児童教育学科		
経営学部	経営学科	平成30年2月9日(金)	
文学部	人間学科		
国際教養学部	国際教養学科		
理工学部	情報システム工学科	平成30年2月9日(金)	
	共生創造理工学科		
看護学部	看護学科		

※全ての学科の併願可(日別に同一の試験問題を課す)。ただし、理工学部と看護学部の併願は不可。

試験教科・科目・試験時間・配点

文系(経済・経営・法・文・教育・国際教養)学部(全科目ともマークシートによる解答方式)

教科	科目 ※1	時間	配点
外国語 (10:30～11:40)	「コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ」	70分	150点
国語 (13:00～14:00)	「国語総合(古文・漢文はいずれか選択)」 ※2	60分	100点
地歴・公民・数学 (14:45～15:45)	「日本史B」「世界史B」「現代社会」「数学Ⅰ・Ⅱ・A・B(数列、ベクトル)」から1科目選択	60分	100点

理工学部(全科目ともマークシートによる解答方式)

教科	科目 ※1	時間	配点
数学 (10:30～12:00)	「数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B(数列、ベクトル)」 ※3	90分	150点
理科 (13:00～14:00)	「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」から1科目選択	60分	100点
外国語 (14:45～15:45)	「コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ」	60分	100点

看護学部(全科目ともマークシートによる解答方式)

教科	科目 ※1	時間	配点
数学・国語 (10:30～11:30)	「数学Ⅰ・A」「国語総合(古文・漢文を除く)」から1科目選択	60分	100点
理科 (13:00～14:00)	「化学基礎・生物基礎」	60分	100点
外国語 (14:45～15:45)	「コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ」	60分	100点

※1 各科目の難易度の差による有利・不利をなくす等のため、全ての科目において「中央値補正法」による得点調整を行う。

※2 古文と漢文の両方を解答した場合は、高得点の方を合否判定に使用する。

※3 数学Ⅲの問題については、代わりに数学Ⅰ・Ⅱ・A・B(数列、ベクトル)の問題を選択して解くことも可能。両方を解答した場合は、高得点の方を合否判定に使用する。

【英語スコア等所持者への優遇措置について】

以下①～⑦の英語能力試験のスコア等所持者は、その点数に従って筆記試験「英語」の得点を換算する。

① TOEFL iBT ② IELTS (オーバーオール・バンドスコア) ③ TOEIC® LISTENING AND READING TEST ④ 実用英語技能検定準1級以上の検定試験の英検 CSE2.0スコア ⑤ GTEC for STUDENTS (L&R&W) (オフィシャルスコア) ⑥ GTEC CBT ⑦ 国際連合公用語英語検定試験

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	換算率
72	5.5	785	2320	810	1250	A級	100%
66	—	740	2260	780	1190	—	90%
60	—	680	2200	750	1130	B級	80%

※優遇措置対象者は筆記試験「英語」を免除するが、受験することも可能。受験した場合、高得点の方を採用する。

平成31年度入試より、以下のとおり優遇措置の基準を変更する予定です。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	換算率
72	6	800	2320	810	1250	A級	100%
66	—	740	2260	780	1190	—	90%
60	5.5	680	2200	750	1130	B級	80%

一般入試 Q & A

Q どのように実施しますか

A 3日間で以下のように実施します。

1日目は経済・法・教育学部の3学部4学科、2日目は経営・文・国際教養学部の3学部3学科、3日目は理工・看護学部の2学部3学科を実施します。

Q 学部内での学科併願は可能ですか

A 学科の併願は可能です。しかし、理工学部と看護学部の併願はできません。

Q 試験場はどこですか

A 東京(創価大学)、札幌市、仙台市、松戸市、さいたま市、新潟市、静岡市、名古屋市、大阪市、広島市、高松市、福岡市、那覇市の13会場で行います。試験の日時や試験問題は同じなので、どの会場でも受験しても有利不利はありません。

Q 身体に障がいがある場合、受験上の特別措置はありますか

A 身体に障がいがあり、受験上の特別措置を希望する場合は、必ず出願前にアドミッションセンターまでご連絡ください。なお、東京試験場(創価大学)で受験していただくこととなりますのでご承知おきください。

Q 合否の判定方法は

A 3科目の合計得点で合否判定します。受験日の試験結果で、その受験日の出願学科の全てを合否判定します。

Q 大学入試センター試験利用入試と一般入試の関係はありますか

A 別の入試です。それぞれに募集人員を決めています。どちらか一方を受験することも、両方受験することもできます(大学入試セン

ター試験を受けないと一般入試が受験できないということではありません)。

Q 大学入試センター試験利用入試(前期3科目方式・4科目方式)と一般入試を同時に受験できますか

A 両方の受験を希望する場合は、同時に受験できます。なお、大学入試センター試験利用入試(前期3科目方式)の選考料が免除になる制度があります。ぜひご利用ください。

Q 追加合格はありますか、また2次募集は行いますか

A 正規合格者が何らかの理由で入学を辞退し、入学手続者が募集人員に満たない場合に、追加合格を出す場合があります。追加合格の人数は学部・学科や年度、また入学辞退者数によって変わります。2次募集は行いません。

試験場

全国13会場 東京(創価大学)、札幌、仙台、松戸、さいたま、新潟、静岡、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、那覇
会場の詳細は、願書(入試要項)をご確認ください。

詳細は願書(入試要項)にてご確認ください。